

令和7年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 豊川市	団体区分（混成の場合は複数☑） <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 遊んで学ぶ下水道！（下水道知育玩具の製作）	
責任者（実際に広報に取り組んだチームの代表者） 氏 名：野澤 遼斗 所 属：豊川市上下水道部経営課総務係 電 話：0533-93-0152 E-mail：keiei@city.toyokawa.lg.jp	
担当チームの構成（外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい） 経営課総務係 職員 4 名	
取組のポイント（一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい） 展示やトイレットペーパーの配布だけだったこれまでの <u>啓発活動を一步前進</u> させる！ 未来を担う子供たちに <u>下水道を身近なものに</u> してもらう！ <u>見るだけではなく体験してもらう</u> ことで下水道を知ってもらう！	
アピールポイント 「楽しく下水道を学ぶ」をテーマに検討 ○「見るだけでは楽しさが足りない」→「楽しくするためには遊んでもらうしかない！」 ○「遊ぶだけで学ぶためにはどうすればいいか」→「下水道の仕組みをそのまま仕掛けにしよう！」 ○「お金はほとんど使えない」→「あるものだけで作る！0円で作る！」 これらの課題をクリアした新しい下水道啓発グッズとして開発しました！！	
要したコスト 庁舎内や職員の家庭内で余ったもののみを材料としたため基本 <u>0円</u> 。 （下水処理場のイラスト等の印刷に数十円程度発生）	

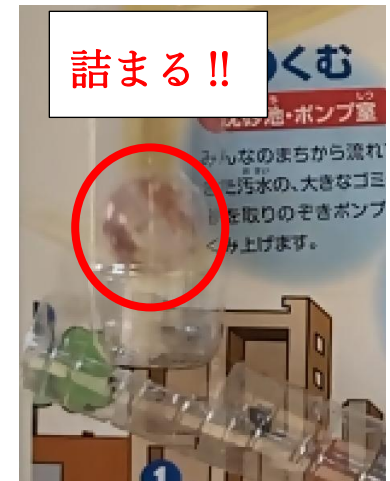
ウラ面に続きます

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

下水道及び下水処理場の仕組みを体験できる知育玩具です。

右図の「宅内排水設備」の箇所から汚水に似せた茶色のボールを落とすと、「下水道」、「下水処理場」を転がっていきます。下水処理場で水をきれいにしているということを知ってもらうために、下水処理場の最終沈殿池を通過すると茶色から青色に変わる仕掛けがしています。また、ティッシュやオムツのような水に溶けないものを大きなボールで表現し、大きなボールを転がした際には下水道内で詰まるようにすることで、下水道に流してはいけないものも同時に知ってもらうことができるようにしてあります。

材料はペットボトル、色紙、ガチャガチャのカプセル等の不要になったもののみであるため、コストがほとんどかかっていません。また、下水処理場のイラストなどは豊川市で発行している下水道のパンフレットから流用しています。職員4名により2～3週間程度で作成しましたが、作りが簡易的であるため他の事業体でも簡単に真似していただくことができます。



成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

おもちゃの完成後、以下のイベントで展示！！

- ・豊川市民まつり「おいでん祭」
（令和6年度、令和7年度）
- ・図書館コラボイベント
（令和5年度、令和7年度）

イベントで展示することで、大変好評をいただいています。

下水処理場を通過するとボールの色が変わる仕組みが特に好評で、多くの子どもたちに何度も遊んでもらえます。これまで啓発内容に興味を持ってもらうことが難しかった小学生未満の子どもたちにも楽しんでもらうことができ、幅広い年齢層へのPRを目指す本市の啓発活動に大きく貢献してくれています。

